

事業所名		asmo		支援プログラム(参考様式)		作成日		2025 年		3 月		31 日	
法人(事業所)理念		そのひとりの"きらめく個性"を、夢や希望につなげていく											
支援方針		私たちは、発達が気になるお子さまにSST(ソーシャルスキルトレーニング)を専門とした、療育サービスを提供しています。お子様、保護者に向き合い、関係機関と連携を取りながら未来に繋げていきます。											
営業時間		火曜日 から 土曜日				9 時 30 分から 18 時 30 分まで		送迎実施の有無					
		支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	園や学校の生活プログラム(登園準備、給食、活動移動など)に自然に参加する中で、生活習慣や健康管理の支援を行う。 児童が身の回りのことを自分で行えるよう見守り、必要時のみ声かけや手順支援を実施。 支援前後には、担任や管理者の先生と児童の生活面の課題や成長について情報共有を行う。											
	運動・感覚	体育、自由遊び、外遊びなど、園・学校の日常プログラムに沿った場面で運動や感覚面の支援を行う。 活動中の姿勢保持、移動のサポート、感覚刺激への過敏・鈍感の対応など、必要なタイミングで介入する。 活動を妨げない範囲で見守りを基本とし、前後で先生と連携して配慮事項や対応方法を確認する。											
	認知・行動	体育、自由遊び、外遊びなど、園・学校の日常プログラムに沿った場面で運動や感覚面の支援を行う。 活動中の姿勢保持、移動のサポート、感覚刺激への過敏・鈍感の対応など、必要なタイミングで介入する。 活動を妨げない範囲で見守りを基本とし、前後で先生と連携して配慮事項や対応方法を確認する。											
	言語 コミュニケーション	活動や授業中の指示理解、友達や先生とのやりとりを見守りながら支援する。 必要に応じて、言葉かけの補助や意思表出を促す介入を行い、コミュニケーションの成功体験を支える。 支援後には、児童の表現力や理解の様子について先生と情報を共有し、支援の一貫性を図る。											
	人間関係 社会性	集団生活の中での友達との関わり方、グループ活動への参加を支援する。 トラブルの予防的対応や、協力・順番待ちの促しなど、場面に応じて介入を行う。 支援後には、集団内での児童の立ち位置や課題、必要な支援方法について先生と共有・協議する。											
家族支援		訪問支援の内容や児童の学校・園での様子を、保護者にフィードバックする機会を設ける。 家庭での支援に生かせるアドバイス(生活リズムづくり、コミュニケーションの工夫など)も提供する。 保護者の不安や相談に寄り添い、園・学校・家庭の支援連携を強化する。 必要に応じて、先生と保護者を交えた三者での支援会議も支援する。				移行支援		卒園・卒業・進級に向け、児童の発達状況や必要な支援方法について訪問先と連携を深める。 次の所属先(小学校・支援学校等)へのスムーズな移行を目指し、情報整理・引き継ぎ支援を行う。 保護者や先生と進路希望や配慮事項を確認し、支援計画に反映させる。 移行時に不安が強い児童には、段階的な環境調整や支援提案も行う。					
地域支援・地域連携		地域の園・学校・福祉機関・医療機関等と連携し、児童を中心とした支援体制づくりを行う。 訪問先で得た情報をもとに、必要に応じて地域資源の活用(子育て支援センター相談・療育紹介等)を促進する。 園・学校単独では対応が難しい課題について、関係機関とのネットワークを生かして支援策を検討する。 子どもと家族が地域で安心して育つための環境づくりを支える。				職員の質の向上		訪問支援に特化した支援技術や連携スキルを磨くため、週1回の事例検討会を実施する。 園・学校現場での実践を振り返り、課題整理とスキルアップに取り組む。 外部研修・セミナーへの積極的な参加により、最新の支援知識と方法を習得する。 支援チーム内で情報共有と相互フィードバックを行い、常に支援の質向上を目指す。					
主な行事等		季節ごとのプログラム活動											